
商船三井と関西電力、共同保有LNG船に命名

Edited By LogisticsToday On 2015/11/10

商船三井は10日、関西電力と共同保有する新造LNG船の命名式が、三菱重工業長崎造船所で行われたと発表した。

新造船は、関西電力の八木誠社長が「LNGジュロウジン」と命名。竣工後、関西電力が契約するイクシスプロジェクトなど、幅広いプロジェクトでLNG輸送に従事する。

■LNGジュロウジンの概要

全長：288メートル

幅：48.94メートル

満水喫水：11.55メートル

LNGタンク：モス独立球形ストレッチタンク方式（連続タンクカバー付）

総トン数：13万6739トン

タンク容量：15万3000立方メートル

主機関：再熱式蒸気タービン

航海速力：19.5ノット

建造造船所：三菱重工船舶海洋

船舶管理会社：商船三井

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/198698>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.